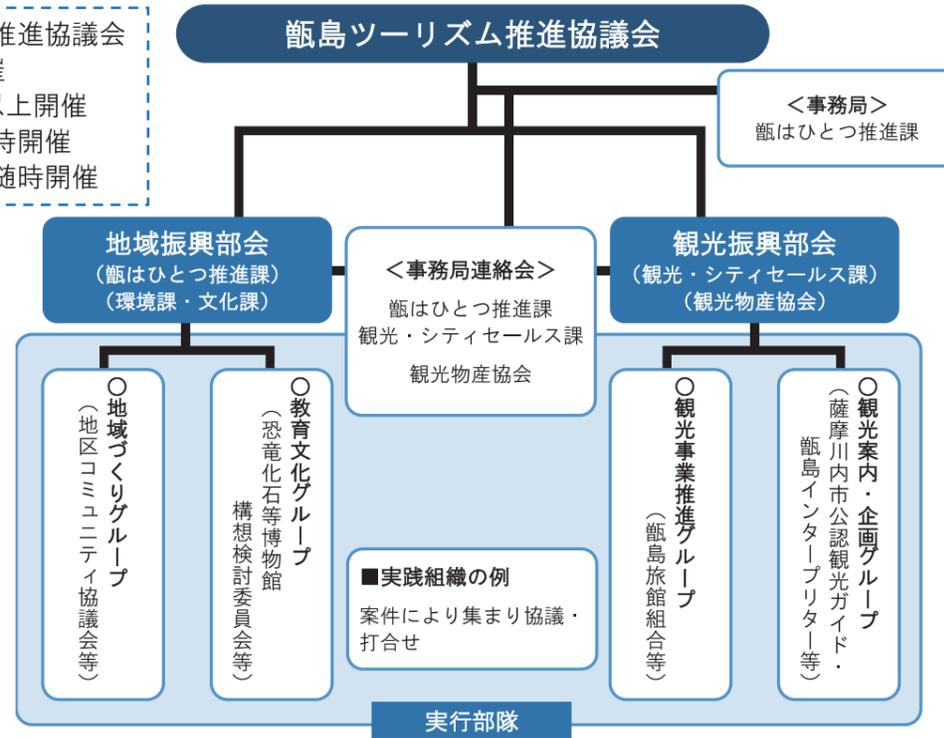


# ビジョンの推進に向けて

- ◇ 第2次ビジョンの実現に向けて地域住民、地域団体、事業者、行政など様々な団体からなる「甑島ツーリズム推進協議会」を組織し、連携して取り組んでいきます。
- ◇ また、今後5年間は、ホテルの再開や蘭牟田瀬戸架橋の開通を控え、甑島を取り巻く環境が大きく変化することから、ビジョンとは別に「やるべきこと」を明確にしたより実効性のある「行動計画」を毎年度策定し、明確な進捗管理を行います。

## <組織図>

- ◇ 甑島ツーリズム推進協議会：年1回以上開催
- ◇ 各部会：年2回以上開催
- ◇ 各グループ：随時開催
- ◇ 事務局連絡会：随時開催



## <進捗管理のスケジュール>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ビジョン	[Progress bar]				調査実施 (XO)検証
行動計画	計画見直し	計画見直し	調査実施 (XO)検証 計画見直し	計画見直し	調査実施 (XO)検証 計画見直し



## 第2次甑島ツーリズムビジョン 概要版

発行年月日：令和2年3月

発行：薩摩川内市 甑はひとつ推進課

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号

TEL：(0996)23-5111（代表） FAX：(0996)20-5570

# 第2次甑島ツーリズムビジョン概要版

令和2年3月 薩摩川内市

## 第2次甑島ツーリズムビジョンとは…

甑島には固有の自然、歴史・文化、生活など多くの資源が存在しており、これらは甑島の宝物です。「甑島ツーリズムビジョン（以下「第1次ビジョン」という。）」は、この宝物を「オール甑島」で守り、活用することにより、甑島全体の観光振興と地域振興を実現するための道筋を描いたものです。

平成26年度に第1次ビジョンを策定し、それぞれの関係者が共通の理念を持ち、具体的な取組を進めてきましたが、令和元年度で計画期間が終了することから、「令和2年度から令和6年度までの5年間」を計画期間とした「第2次甑島ツーリズムビジョン（以下「第2次ビジョン」という。）」を策定しました。

第2次ビジョンは、第1次ビジョンの「基本理念」・「基本方針」・「コンセプト」を継承しながら、メインターゲットを本市全体の観光振興の方針と一致させた上で、将来の甑島を見据えた、より実効性のある計画とします。

### 基本理念…甑島ツーリズム推進に当たっての共通の理念

皆が誇れる甑島の風土と営みを、護り磨いて次世代に受け継ぐ

- ① 地域経済への寄与
- ② 交流の促進
- ③ 誇りの醸成と継承
- ④ 持続可能な地域社会の形成

### 基本方針…甑島ツーリズム推進に当たっての基本的な方向性

甑島の資源の保護と活用による観光振興を主軸とした地域振興

### コンセプト

とき  
こころ・自然・時空  
がつながる島

### ターゲット

新幹線を利用する  
九州圏内からの  
少人数（1～4名程度）旅行者

コンセプトに込めた思い

- **こころ** 甑島の人々の優しい心
- **自然（しぜん）** 国定公園に指定されるほどの貴重で豊かな自然環境
- **時空（とき）** 8,000万年前の太古から現代の生活までの悠久の時間と、そこに現れる空間
- **つながる** 心と心がつながること、上甑と中甑、下甑が橋で一つにつながることで、これからの未来へ今の風景をつなげていくことを象徴

## 甌島が抱える課題

### 体験コンテンツ・サービス

甌島独自の個性を生かした、甌島を体感できる観光、他産業との組合せによる観光の推進が必要

### 宿泊施設・飲食店等

観光客増加を見据えた宿泊先・飲食店の確保と、商品・サービスの品質向上が必要

### 既存施設の利活用・再編

既存施設を活用した観光拠点の創出、観光施設の魅力向上が必要

### 移動手段

藺牟田瀬戸架橋の開通を見据えた、利便性の高い移動手段を確保し、ニーズに対応することが必要

### 環境保全

環境・資源保護の仕組みづくりや地域住民への意識啓発が必要

### 歴史・生活文化

甌島固有の生活文化や日常風景の価値の再認識・理解の醸成、歴史・文化・民俗等の継承が必要

### 一次産業、特産品

「甌島産」の農林水産物の提供機会の創出や高付加価値化・販路拡大が必要

### 観光インフラ

通信環境やユニバーサルツーリズムへの対応など観光インフラの整備が必要

### 生活インフラ

藺牟田瀬戸架橋開通による車移動増加への対策や道路の整備・適切な維持管理が必要

### 情報発信

SNSの活用など多様な情報発信、滞在中に甌島の情報を取得できるツールの整備などが必要

### 人材育成・活用、連携

ツーリズム推進に向けた担い手の知識や技術の習得の場、情報共有できる仕組みが必要

### 環境・観光教育

地域住民1人1人が甌島ツーリズムの担い手となるために、環境・観光情報の共有化が必要

### 地域交流・継承

甌島へのふるさと意識や一体感の醸成を図るため、多様な交流をつくる必要がある

## 甌島ツーリズムの目標

### 甌島に住む地域住民の満足度アップ

※観光分野の政策への満足度  
(甌島地域分を抽出)



### 観光振興の目標

◆甌島への誘客を実現するためには、甌島が「選ばれる観光地」となる必要があります。観光客に「訪れてよかった」、そして「もう一度来たい」と思ってもらえる観光地域づくりを目指します。

#### 【観光振興の目標指標】宿泊者数



### 地域振興の目標

◇観光客が増え、観光収入が増加することで地域の産業が活性化し、地域住民が住みやすい環境づくりを目指します。甌島固有の自然、文化・歴史、産業等を守り伝えていきます。

#### 【地域振興の目標指標】1人当たりの観光総消費額



## 甌島ツーリズムの戦略（主な取組）

観光振興のための取組

地域振興のための取組

### 戦略① 地域資源の保存と活用による甌島の魅力の提供

- ◆ 甌島固有の自然、歴史・文化、産業等を活かした体験プログラム・エコツアーを商品化します
- ◆ 藺牟田瀬戸架橋完成に合わせて記念イベントを実施します
- ◆ 宿泊施設・飲食店等の連携により魅力的な飲食メニュー等をつくり出す

- ◇ 自然環境の保護・管理のための明確なルールをつくり、エコツアーや地域住民向け講演会等を通じてそのルールを周知します
- ◇ 甌島固有の歴史・文化・民俗等の継承や日常の生活風景の価値や魅力を活用します
- ◇ 甌島の農林水産物の付加価値化（ブランド化、六次産業化）の支援や甌島産の流通拡大やPRイベント等での販売機会の拡大を図ります

### 戦略② 魅力的な受入環境の構築

- ◆ 藺牟田瀬戸架橋の開通後、移動手段の確保や航路・陸路が連携した観光客にとって効率的な交通体系を検討します
- ◆ 多様な観光客のニーズに対応する通信環境や案内板など観光インフラの整備に努めます

- ◇ 市民にとって利便性の高い島内の交通体系を検討します
- ◇ 島内の車の移動状況により駐車場の確保等のインフラ整備を検討します

### 戦略③ 効果的な情報発信

- ◆ 甌島ファンを増やすための情報発信や甌島の共通アイコンによる統一イメージでのPRを行います
- ◆ 滞在中の多様な観光客の属性・ニーズに対応できる情報ツールを整備します
- ◆ 甌島の最新情報を蓄積・共有できる体制と仕組みを整備します

### 戦略④ 甌島ツーリズムの担い手の育成・確保

- ◆ 質の高い観光コンテンツの提供に向けた担い手を育成し、体制を強化します
- ◆ 甌島ツーリズム推進協議会と地域住民・団体との連携体制をつくり出す

- ◇ 地域住民・児童・生徒へ出前授業の開催等により環境・観光教育を推進します
- ◇ 学校における甌島ツーリズム教育の実践や世代や地域を越えた交流会を開催します